



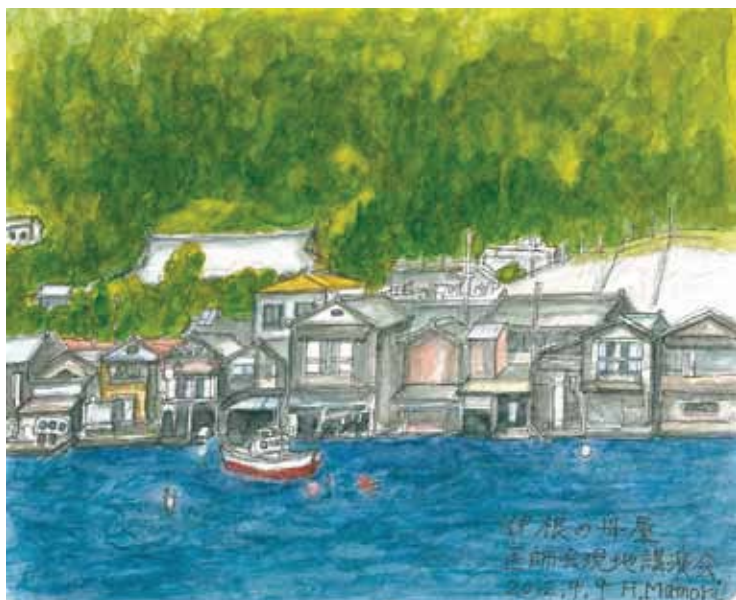
神戸医協ニュース

591

2013. 9. 1

発行／神戸医師協同組合 発行人／小柴 孝夫 〒651-0067 神戸市中央区神若通3-2-15 電話 (078) 241-8991(代) <http://www.kobe-ishikyo.or.jp>

紙上ギャラリー



伊根の舟屋

平成24年9月9日、神戸市医師会の現地講演会と写真撮影会は天橋立観光と伊根湾めぐりでした。伊根湾めぐりは初めての体験でしたが、天気がよく、波が穏やかで快適でした。海上から重要伝統的建造物になっている舟屋を見ることができ、写真を撮った後スケッチしたのがこの絵です。

画／間森 坦（中央区医師会）

時代の変化に対応した改革

監事 江草 康夫

神戸医師協同組合は設立56年を迎え、ご支援いただいている組合の先生方のみならず、先輩役員の先生方、職員の努力のおかげで順調な発展を遂げて来ましたが、時代の変化と共に、様々な改革を迫られております。

ジェネリック薬の、政府による使用促進策（医療費抑制のため）が強力に進められており、本来ならジェネリック薬（後発薬）専門取扱いの神戸医師協に、多大なる恩恵が降り注ぐとの予想でしたが、現実はさに非ず、ジェネリック薬の有力メーカーは、かつての先発品のような値引き率を提示してきております。また先発品（新薬）メーカーがジェネリック薬品に参入してきており、競争が激しくなり、我々医師協としても、厳しい対応を迫られております。

さて、最近の新規事業としては、医師協カード（VISA）や今年より衛生材料のカタログ販売にも取り組んでおります。先日ポートアイランドのホテルで和食を食べ、会計時にこの医師協カードを提示しますと「10%引きです」とのことでした。今後提携店舗も増えてまいりますし、全国展開を模索中です。ご加入、ご

利用の程よろしくお願いたします。

また、カタログ販売は、「5000円以上で送料無料」との縛りがあるため、ご利用頻度を心配いたしてはりましたが、価格の安さもあり、まずは順調にスタートしております。

新たな視点としては、保険業務の全国提携も考えられるでしょう。

ところで神戸医師協の特徴は、全国の医師協同組合の中で屈指の職員数であります。その職員はといいますと、半民半官のごとき立場からでしょうか、関係各方面からは、おとなしい性格、お上品な性格と揶揄されているようであります。このままでは時代の変化について行けないとの認識にたち、小柴理事長の指揮のもと、昨年から、新行動指針なるものを作成し意識改革の徹底に努めております。まだまだ、“効果観面”とはいかないようですが、今後、期待していただきたいと思っております。今後、この豊富な人材を、いかにうまく活用していくか重大な問題です。

ひき続き、神戸医師協同組合を、よろしくお願いたします。